

# 平成29年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 東和中 学校
作成日	平成30年 3月1日

## 1 教育目標

人権尊重の精神を全教育活動の基盤にした、心豊かな人間性と確かな学力、たくましく生きる力を持った生徒の育成

## 2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力	小中連携
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標としては、生徒・地域の実態と今までの実践の積み重ねから見て、いずれも適切である。</li> <li>・きめ細かく具体的な情報発信に努めている。</li> <li>・地域の豊富な教育資源を活用している。</li> <li>・単一学区の特性を生かし、小・中連携も充実しており、保護者や地域との関係はよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標としては、今までの実践を元に最重要目標になっている。</li> <li>・東和中学校にとっては、生徒指導の充実が長年の課題である。生徒の心に響く取組を継続し更に推進してほしい。</li> <li>・道徳と読書は大いに関連する。道徳が31年に教科化されるので読み物はしっかり読ませて更に研究を進めてほしい。</li> <li>・人権・同和教育の充実・実践を図り、人権意識を高めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東和中にとっては学力向上は特に大きな課題である。</li> <li>・全教員が「学び合いの授業づくり」を共通理解をし、指導方法に関する研修をより深めてほしい。</li> <li>・「職場体験」を進めていく上での効果について検証してほしい。</li> <li>・特別支援教育の充実と研修を深めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業交流や人事交流、更に職員研修や交流が行われている。「学び合いの授業づくり」も共有し、実践していくことも必要であると思う。</li> <li>・小・中相互の授業交流に努力できている。</li> <li>・行事の交流のなかでの情報交換が大変役立っている。</li> </ul>

取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事への参加の呼びかけは粘り強く、保護者・地域にむけ行い、学校と一体となった活動を展開できている。「合唱コンクール」や「東和スマイルカップ」等のイベント型の行事には多くの参観が得られ、地域・保護者が一体となったものが開催できている。しかし、PTA総会や授業参観においては、学校としては大いに努力しているが保護者の意識に高まりがないのは残念である。</li> <li>・各種団体との懇談会も3回実施していて、各種団体の欠席もなく、充実した懇談会ができている。</li> <li>・HPや様々な紙ベース（東和便り・学年便り等）により、生徒や保護者に対して学校の取組や行事、心身を育てるための細やかで具体的な情報発信ができている。</li> <li>・地域には素晴らしい人材や地域教材が多く、これらを活用することにより、生徒の心に響く教育を実践している。</li> <li>・その日にあった問題についてはその日の内の解決に向け、きめ細かく家庭との連絡を取っている。家庭訪問を中心とした家庭と連携して教育を進めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が一丸となって、生徒一人ひとりの理解に努めようとしている。</li> <li>・問題をかかえる生徒に対して、地域と連携をとりながら改善の道を探っている。</li> <li>・読書活動のアンケートがきちんと処理され、結果も公表され成果も上がっている。</li> <li>・道徳教育の充実を目指し積極的に取り組もうとしている。</li> <li>・人権・同和教育が計画的に行われている。また、小中の教員の連絡会についても、年々充実させようとしている。</li> <li>・朝のあいさつ運動も定着し、校長を中心に多くの教員が参加し、学年を超え、全生徒との関係を深めようとしている。</li> <li>・全員清掃が実施されているが、全教員の共通理解を図り、積極的な参加が必要と思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学校全体で授業改善や授業力向上に向け、取り組んでいる。</li> <li>・「学び合いの授業づくり」の推進のため、教員が一丸となって校内研修に取り組んでいる。</li> <li>・「朝の読書」が定着し、静かな雰囲気を実施されている。</li> <li>・家庭学習の習慣を身につけさせるため、効果的な課題の出し方を見つけてようとしている。</li> <li>・将来の進路選択に向け、計画的に進路指導に取り組んでいる。</li> <li>・職場体験学習では、体験のみならず事前学習や事後のまとめを壁新聞や発表を通して生徒の力になっている。</li> <li>・特別支援教育における個別指導計画を作成することは大切である。学校全体としての取り組みを進めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員相互の授業参観や研究協議を推進することは、教員の授業力アップに効果があった。</li> <li>・単一学区の特性を生かした充実した取り組みであるため、小中が連携した学習方法に積極的に取り組んでほしい。</li> <li>・社会科の授業交流は決まったテーマで行われており、素晴らしい取り組みであるが、他教科の取り組みも必要であると思う。</li> <li>・小・中連携教育については、努力の積み重ねが重要である。新入生の部活動紹介で等小学6年生を招待し、交流させることも一興に思う。</li> <li>・小・中が連携して人権・同和教育の研修を深めていることは素晴らしいと思う。</li> </ul>
-------------	---	--	--	--

<p>検証結果に対する意見</p> <p>取組の適切さの</p>	<p>・イベント型の行事には多くの参観が得られたが、授業参観は昨年同様少なく、常日頃より、授業や研究授業を公開し、保護者の参加を促し、参観した保護者の口コミで拡大させていく工夫が必要である。</p> <p>・「合唱コンクール」では、地域の公民館活動のすばらしい作品が展示され、地域と学校の結びつきに効果があった。また、生徒にとっても作品の素晴らしさに感銘することができた。</p> <p>・「宮前地区子どもを育てる会」が地域各種団体との意見交換や学校の情報公開の場として活用できている。</p> <p>・様々な紙ベース(学校便り等)の中の重要な内容は、教員が生徒達と一緒に読むことにより、生徒には届いているようだが、保護者にまで浸透しているかどうか疑問である。</p> <p>・地域の人材を活用した授業展開は、生徒にも身近なものとして理解しやすいと思う。さらに、推進、発展させてほしい。</p>	<p>・朝のあいさつ運動が多くの先生方や地域の方々の参加を得て、年々充実してきている。</p> <p>・朝の読書活動が定着しており、アンケート結果からも生徒全体に読書に親しむ習慣がついてきている。本を読むという行為自体が「豊かな心」ととらえてよいのではないかと、より、推進してほしい。</p> <p>・道徳教育に年間計画通り取り組めたことはすばらしいことだと思う。2年後の教科化に向け、更に推進してほしい。</p> <p>・人権、同和教育が計画的に実施されている。小中意見交換会も効果的で、生徒の人権意識も高まっている。</p> <p>・いじめ問題解決に向け、積極的に予防対策に推進できている。</p>	<p>・「学び合いの授業づくり」の研究授業・研究協議会を数多く実施し、充実した実践ができている。</p> <p>・「学び合いの授業づくり」を充実させるため、教員・生徒からアンケートを年2回行い、検証結果から生徒・教員の意識の高まりが見られた。</p> <p>・朝の読書活動については、アンケート結果から生徒に集中力や国語力に高まりがあったことがわかる。</p> <p>・宿題の取組は、全学年が取り組んでいることはすばらしい。宿題のチェックや粘り強い指導に敬意を払う。</p> <p>・進路指導については、3年間を見通し計画を立て、実践していくことが大切である。</p> <p>・職場体験学習は、地域との連携が大切で、職場体験学習を実施できる場所の確保が大切である。</p> <p>・夏休みにチェックリストを分析し、支援が必要な生徒を共通理解し学年を中心に指導支援ができた。</p>	<p>・先生や情報の交流は、大切なことで東和中と宮前小では積極的に行われ、成果が見られる。</p> <p>・小・中の連携で互いの教員が兼務することにより、互いの実態を交流教員によって知ることによって系統だった教科指導に結びつけられる。</p> <p>・今年は平日開催であったため、「合唱コンクール」に小学生の参観はなかったが、次年度は例年の土曜日開催にすることで、たくさんの地域の方や小学生の参加も得られ、東和中学校の取り組みが理解される。</p> <p>・「東和便り」がたくさん発行されているので、次年度は是非小学校にも配布することで、小学校の保護者にも東和中学校の取り組みが理解される。</p>
<p>改善方法に</p> <p>次年度に向けて</p> <p>意見</p>	<p>・校内研修(研究授業)は、十分に実践しているので、小学校6年生の保護者にも公開できるような工夫をしてはどうか。</p> <p>・「東和スマイルカップ」には保護者の見学者も多かった。「合唱コンクール」と同様に地域にも呼びかけてもらい、東和の伝統的な行事となっていくことに期待する。</p> <p>・「保護者へのメール配信」を利用して授業参観や講演会等への参加を呼びかけてはどうか。</p> <p>・「宮前っ子 子育てプロジェクト」を広く広めるような工夫改善してほしい。</p>	<p>・学校全体で取り組む授業規律を決め、全教員がチャイムとともに授業が開始できるよう努力している。</p> <p>・教員が、部活動や昼休憩・掃除等の生徒の活動に積極的に関わり、自然な中で生徒理解を図っている。</p> <p>・朝の読書活動を更に充実させてほしい。効果についても充分検証され、他校にもその効果を公表して欲しい。</p> <p>・道徳教育の充実が本校の課題である生徒指導の充実に結びつくとと思うので、さらに工夫改善を進めてほしい。</p>	<p>・「TOWA7」と「授業づくりの5ポイント」実践は、教員が共通理解をしながら実践しているが、まだ、不十分なところが見られる。教員相互の授業参観を増やし、研究協議を深め全教員が授業改善できることを期待する。</p> <p>・「朝の読書活動」「宿題の出し方の工夫」「授業改善」の充実のため、本年度のアンケート結果を充分検証し、成果が出ることに期待する。</p> <p>・発達障害についての研究・研修をさらに深めて成果が出ることに期待する。</p>	<p>・東和中学校の小中連携は、他校と比べかなり進んでいると思う。教員同士の連携、情報交換を密に取り、小中連携のより一層の充実を期待する。</p> <p>・多くの行事を生かし、児童会と生徒会の交流できる機会を作る努力が必要である。</p> <p>・地域を含め、小・中がPTA活動や合同で行える行事を連携して実施できるよう期待する。</p>

### 3 その他のご意見

<p>・教員の授業力は、生徒や保護者の信頼度につながるため、授業の質を高めると共に授業力向上のために努力してほしい。</p> <p>・クラスによっては、学級掲示物や清掃状態に大きな差がある。学習環境は、生徒の成長に大きな影響を与えるので、工夫をお願いしたい。</p> <p>・特別支援学級の取り組みの難しさを感じた。さらに、充実した取り組みを進めてほしい。</p> <p>・自転車通学の禁止の徹底や部活動時における自転車のマナーの指導もお願いしたい。</p> <p>・地域は東和中学校を愛しています。常に家庭訪問を心がけ、生徒理解を推進してほしい。</p> <p>・校長のリーダーシップのもと、全教職員が同じ方向で充実した学校運営ができている。一人ひとりの教員が主体的に積極性を持たせることにより、更に充実した学校運営ができると思う。</p>
---